

議会改革検討小委員会作業部会 次 第

日時：令和4年12月13日(火)
議会運営委員会終了後
場所：議会運営委員会室

- 1 開 会
- 2 本会議におけるペーパーレス会議システムの活用について
- 3 その他 I C Tツールの導入について
- 4 その他
- 5 閉 会

本会議におけるペーパーレス会議システム
の活用に関する検討結果の方向性（案）
（令和4年12月5日議会改革検討小委員会作業部会）

○ 検討結果の方向性

- ・ ペーパーレス化については行政をはじめ社会全体で推進されているものであり、府議会としても進めていくべきである。
- ・ 現在、委員会では審議の充実等を目的としてペーパーレス運営を試行実施しているが、本会議は委員会の審議を受けた議決の場であることを踏まえると、現時点では直ちにペーパーレス会議システムを活用する必要性はない。
- ・ 今後、社会情勢の変化等によって必要性が生じた場合には、改めて本会議のペーパーレス化について検討を行うこととする。

○ その他の御意見

- ・ 議員60名分の資料は大量であるため、全員協議会なども含め、紙資料の削減については考えていくべきである。
- ・ 府議会のペーパーレス運営における情報端末機器は議員個人が保有する端末を使用することとしているが、公開の場である本会議では異なる端末をすることはなじまないのではないか。
- ・ 本会議での質問時に写真等を示す際、パネルの代わりに大型モニターの使用が検討されたこともあったが、本会議での情報端末の導入と同じく、費用面の問題があり、常任委員会等のペーパーレス化から進められたという経緯もあった。

議会改革検討小委員会作業部会（令和4年12月5日） 委員発言概要

- ペーパーレス化は社会全体でも進めており、本府でもデジタル化に取り組んでいるところであるので、議員はこれらを推進する立場をとらなければならないと思う。ただし他の都道府県では情報端末の不適切な使用の事例もあるので、そのようなことを防ぐための勉強会などの取組から一歩ずつ進めていってはどうかと考える。
- 議員により異なる端末を使用することにより、テレビ中継等を見た府民が受け取る印象について懸念がある。
- 議場に端末を整備するとなると、ネットワーク回線といったハード面の整備も含めコストがかかる。本会議はペーパーもそこまで多くないのに多額の費用をかける必要があるのかについては、これまでから議論されてきた。また、議員保有端末を使うこととの整合性も問題になる。
- ペーパーレス化は審議の充実を目的としており、本会議は委員会での審議を受けた議決の場であるのでなじまないのではないか。今後の社会情勢の変化にもよるが、現段階では本会議のペーパーレス化をする必要はないのではないか。
- 60名分の資料を重ねるとかなりの量になる。臨時会があるたびにそれを配ることや、全員協議会などについても考えるとペーパーレス化については進めていく必要がある。
- 過去の作業部会の中では、本会議での質問時に写真等を示す際、パネルの代わりに大型モニターやプロジェクターの導入が議論されたこともあったが、費用の問題もあり、常任委員会などの場のペーパーレス化から進めて行くことになった経緯がある。

その他 I C T ツールの導入に向けた調査について（案）

1 令和3年度答申（抜粋）

○ 小委員会答申

（緊急事態における京都府議会）活動指針の実効性をより高めるために有効な I C T の活用方法について、令和4年度に検討することとしてはどうか。

○ 作業部会答申

（その他 I C T ツールの導入等について）令和4年度に先進議会や専門業者等の調査も行った上で、具体的な検討を行う。

【令和3年度議員アンケート結果】

その他の I C T 化については、「会議の開催通知等」、「出欠・安否（アンケート機能）」、「スケジュールの共有」といった、事務局からの連絡・調整にかかる事項について進めてはどうかという意見が多かった。

2 本調査の趣旨

上記の答申内容を踏まえ、「緊急事態対応」及び「事務局からの連絡・調整」に活用できる I C T ツールについての知見を得るため、専門業者にサービスのプレゼンテーションを依頼する。

3 依頼先

- 業者名：サイボウズ株式会社
- 選定理由：同社が提供するグループウェア「サイボウズ office」は複数の都道府県議会において導入事例（※）があり、また、メール・スケジュールの機能や災害時の安否確認の機能を備えているため、昨年度の答申の方向性とも合致するため。
（※）導入議会 埼玉県、滋賀県、島根県、愛媛県

4 実施日程等

- 1月中旬～2月上旬
- オンラインにより実施し、1時間程度を予定

グループウェア導入に係る全国状況

○グループウェアを導入している都道府県議会：13 議会

サービス名	メール・通知機能	スケジュール機能	安否確認機能	導入議会数	導入都道府県
LINE WORKS	○	○	—	5	栃木県、山梨県、岐阜県、静岡県、徳島県
サイボウズ Office	○	○	○	4	埼玉県、滋賀県、島根県、愛媛県
Google workspace	○	○	○	2	秋田県、高知県
Microsoft365	○	○	—	1	福井県
GRIDY グループウェア	○	○	—	1	長野県